



熱エネルギーの有効利用と計測技術の他分野への応用

University of Miyazaki
Faculty of Engineering



機械知能プログラム 助教 友松 重樹

出身：福岡県田川市

趣味：ドライブ、機遊び

講義：熱エネルギー変換工学，プログラム言語及び
演習，機械知能工学実験Ⅰ・Ⅱ など

専門：熱工学

ひとこと

興味を持っている分野や将来働きたい分野について，
より深く知りたいですね？大学とは，それができる場
所です。

研究内容

中低温排熱の有効利用に関する研究

- 発電施設や工場，ごみ焼却施設などで捨てられているような比較的
低い温度の排熱を利用して発電するシステムの開発

パーキンソン病等の筋緊張測定装置の開発

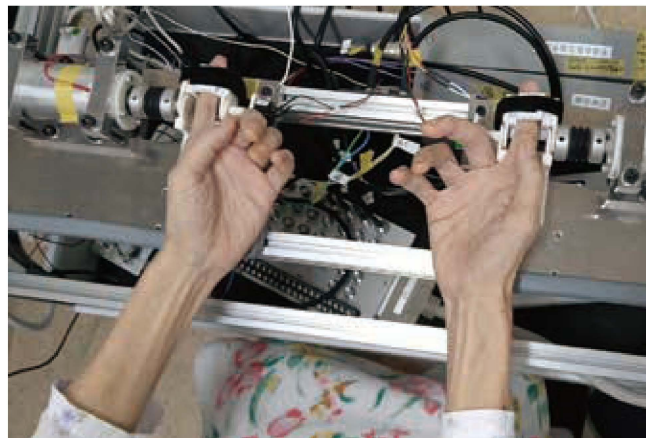
- パーキンソン病の主な症状の一つである「筋強剛」を測定する装置の
開発および重症度の定量的評価方法の検討



オーガニックランキンサイクル発電システムの開発

この研究はどう役立つ？ 研究から学べることは？

- 限られたエネルギーを有効に活用して燃料の消費量を低減し， CO_2
の排出量を減らすことで，省エネルギー・低炭素社会を実現するこ
とができます。
- 筋緊張測定装置が実用化されれば，従来よりも正確に筋緊張の重
症度や治療の有効性を正確に表すことができ，治療方針の決定に
役立ちます。
- これらの研究では様々な物理量を計測するので，計測方法やデータ
の解析方法などを身に付けることができます。



パーキンソン病の筋強剛測定